

## 令和4年度相模原市総合防災訓練を実施しました

## 1 訓練の実施結果概要

実施日 令和4年9月4日（日）

訓練	実施場所	参加状況
総合防災訓練（主会場）	相模総合補給廠一部返還地 相模原スポーツ・レクリエーションパーク	約100機関 約2,000人
地域会場訓練（緑区）	中沢中学校（城山地区）	13機関 150人
地域会場訓練（中央区）	並木小学校（光が丘地区）	3機関 50人
地域会場訓練（南区）	谷口台小学校（大野南地区）	8機関 100人
合 計		約124機関 約2,300人

## 2 訓練終了時の本村市長講評（要旨）

本日は、自治会をはじめ、市民の皆様、消防団、そして、陸上・航空自衛隊、在日米陸軍、神奈川県警察、九都県市、医療機関、ライフライン事業者などに訓練に御参加いただき、3年ぶりに開催することができました。

本日の総合防災訓練は「本市直下を震源とする大規模な地震」の発生を想定し、迅速かつ円滑な災害応急対策の実施などを目的として、自主防災隊、自衛隊、在日米陸軍、神奈川県警察をはじめ、防災関係機関と連携を図りながら、「自助」「共助」「公助」の力を高める各種訓練を行うことができたと考えています。

訓練を通して、災害が発生した際には、防災関係機関の皆様の御支援、御協力が必要不可欠であると改めて認識するとともに、心強く感じたところです。

防災関係機関の皆様方による訓練を拝見し、来年の九都県市合同防災訓練の開催に向けて、大きな成果が得られたと考えています。

災害から市民の皆様の生命・財産を守るためには、自治会を中心とする自主防災組織や防災関係機関、事業所及び行政等が一体となって、行動することが必要であり、こうした訓練を重ね、いざという時に対応できるよう備えておくことが大切です。

今後とも皆様には、家庭や地域、職場での自分自身の役割などを改めて御確認いただき、「災害に強いまちづくり」を推進するため、より一層の御協力をお願い申し上げます。